

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2021年度)

専門分野区分	企画・表現基礎	科目名	ポートフォリオ制作				科目コード	D1222B2		
配当期	後期	授業実施形態	通常				単位数	1 単位		
担当教員名	塩濱 将悟	履修グループ	1K(DA/DV/MC/SC)				授業方法	演習		
実務経験の内容	映像制作業務に10年間携わってきた経験を活かして、映像表現またはその補助としての2DCG表現の制作手法について実践的に講義、演習を行う。									
学習一般目標	ポートフォリオを作る目的を認識し、クリエイティブ業界へ就職する為のポートフォリオとして、自分が目指す方向性やセンス、経験、技術レベルを採用側にアピールする為のページ構成を行うことができる。 非常に多岐に亘る映像業界において、自分の目指す分野に適応したポートフォリオの形を作成していく手順を理解する									
授業の概要および学習上の助言	クリエイティブ業界では、履歴書や人間性の他に各専門分野における“ポートフォリオ”の作成が必須となります。具体的な目標(希望する職種や企業)を認識したうえで、求められる作品群やどのような構成が好まれるかなどの需要をリサーチし、情報を収集しておく必要があります。この科目では、ポートフォリオを完成させることを目標にしています。あくまで就職活動時に有効なポートフォリオの制作方法を理解し、自身のスキルアップや就職活動に活かせる知識を養う科目です。									
教科書および参考書	採用担当者の心に響くポートフォリオアイデア帳									
履修に必要な予備知識や技能	シラバスの授業の概要および学習上の助言を理解したうえで授業に臨んでください。									
使用機器										
使用ソフト										
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1/2	希望職種に対し情報収集から需要を考え、対応する為のポートフォリオを企画し、制作に取り組むことができる。								
	1/3	各種専門就職で自分をアピールできるポートフォリオの形をおよそ完成させる。								
	1/3	テーマ・コンセプトに沿ったポートフォリオを制作することができる。								
	1/4	各作品のキャプションにおいて、テーマやコンセプトなどを理論的に記述解説することができる。								
	1/5	インターネット等を活用し、海外サイトのチュートリアルや作品などの情報を積極的に収集し、ポートフォリオ制作に活用することができる。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解								
		2.思考・判断						20		20
		3.態度						20		20
		4.技能・表現						30		30
		5.関心・意欲						20	10	30
	総合評価割合						90	10	100	
評価の要点										

評価方法	評価の実施方法と注意点
試験	
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	後期期間内に随時、中間チェックを行い、後期末にはファイリングした形での完成を目指す。ポートフォリオ作品を提出し、その完成度により評価を行う。
その他	授業への出席、授業に対する取り組み、授業内容の理解度など、総合的に判断する。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション ポートフォリオの重要性 レイアウトの基礎	講義と実習	
第2回	ラフの作成 先輩の作例を参考に	講義と実習	授業内で配布した資料を読み返すこと。
第3回	ラフの作成 先輩の作例を参考に	講義と実習	授業内で配布した資料を読み返すこと。
第4回	ラフの作成 先輩の作例を参考に	講義と実習	計画シートができていない場合、次回までの宿題。
第5回	手書きポートフォリオの作成	講義と実習	自分のアピールポイントなどを整理しておく
第6回	手書きポートフォリオの作成	講義と実習	次回完成に向けて作業を進めておく
第7回	手書きポートフォリオの作成	講義と実習	授業内で完成・提出できなかった場合は宿題。
第8回	ファイリング	講義と実習	授業内の内容を復習しておくこと。
第9回	ファイリング	講義と実習	授業内の内容を復習しておくこと。
第10回	ファイリング	講義と実習	授業内の内容を復習しておくこと。
第11回	ファイリング	講義と実習	講義と並行して自分のポートフォリオ制作を進める
第12回	ファイリング PF提出	講義と実習	講義と並行して自分のポートフォリオ制作を進める
第13回	作品制作	講義と実習	ファイリング用のクリアファイルブックを購入しておくこと。
第14回	作品制作	講義と実習	次回の授業内で提出となるため作業が遅れている場合は進めておく。

第15回

作品制作

講義と実習

授業時間内に提出できなかった場合は期限内に提出。